

第 42 回理事会 議事録

1.開催日 2024年2月11日(日) 14:00:~17:30

2.開催方法 ZOOMによるオンライン会議

3.理事 19名中15名が出席し、定足数を満たした。

(出席) 愛場庸雅 村越 真 鹿島田浩二 高島和宏 信原 靖 奥田健史 衆 早穂 佐藤大樹 吉村年史  
加納尚子(8号議案より参加) 市川俊介 大石 遥 野中好夫 中野智美 茅野耕治  
(欠席) 源後(皆川)美紀子 小林 力 大野(山本)徳子 市橋国之

監事(出席) 齋藤宏顕

(欠席) 齋藤和助 中川義宏

陪席 落合公也(国際委員会副委員長)

事務局 小野賢二 上松典子(記録)

議長 定款第32条により、愛場理事を指名した。

・愛場議長は議長就任にあたり、表決には加わらないこと、但し賛否同数の際に表決を行うことを表明した。  
従って今理事会での愛場議長の表決は全議案棄権票として扱う。

## 審議事項

議長より第一号議案と第二号議案は関連するので、説明を一括して行いたい旨発言があり、了承された。

第1号議案 令和6(2024)年度事業計画案の承認(愛場副会長)

内閣府へ提出およびJOAホームページに公開する2024年度事業計画書案(第1号議案資料)について、  
愛場副会長より説明がなされた。

鹿島田競技力担当業務執行理事より聴覚障害者の選手強化についてのP9に4.2.3として、国際大会の出場を目指す  
デブ選手向けの合宿・練習会等による強化を行う。」を追加したい旨提案があり、審議の結果、議長より変更案で採決した  
旨確認があり、変更案で採決をすることになった。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により変更案を承認した。

第2号議案 令和6(2024)年度予算案の承認(愛場副会長)

愛場副会長の概略説明の後、小野事務局長より内閣府へ提出およびJOAホームページに公開する令和6(2024)年度  
予算案(第2号議案資料)について説明がなされた。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第3号議案 基本財産に関する規程および細則ならびにその関連する定款改定を総会に上程することの承認(村越副会長)

助成金に関するJOAのキャッシュフロー改善を目標として、基本財産を運用すること目的に、基本財産に関する  
規程、およびその細則を改訂。会員への説明を含め、その規程の改定に伴う定款の改定について説明された。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第4号議案 定款の改定、および社員総会運営規則と理事会運営規則の改定を総会に上程することの承認。(衆業務執行理事)

法務局の指摘に対応する定款の改定を総会で提案するための決議。

・理事会での議事録署名人の定義について

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第5号議案 役員報酬規程改定の総会上程の承認(衆業務執行理事)

役員報酬規程の改定を総会で提案するための決議

・旅費、謝金が受け取れる報酬として明記する

・役員報酬規程の改廃は定款で制限されていることを明記。他言い回しの修正。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第6号議案 理事の職務権限規程改定の承認(衆業務執行理事)

理事の職務権限規程で、副会長と業務執行理事の職務を代行する順番を、毎事業年度で決める事になっているが、  
実際にその使用頻度は低く、理事の改選時に決める(2年に1回)で充分と思われる。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

#### 第7号議案 旅費規程および謝金規程改定の承認(糸業務執行理事)

JSC助成金の旅費精算の条件が2024年度より変更になり、各NFの規程に従うことになると予想されるため、規程の整備を行う。主な改定は以下。

- ・旅費規程の改定→近年の宿泊費高騰により上限を1万円から2万円に変更。
- ・「会長の承認」に業務執行理事を追加。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

#### 第8号議案 認定指導者規程改定の承認(信原業務執行理事)

＜この議案から加納理事が参加し出席理事総数16名＞

「認定指導者規程」を「認定資格規程」へ名称変更するとともに、内容の見直しを行う

- ・認定オリエンテーリング・ディレクタの廃止に伴い文言の削除。
- ・イベントアドバイザーは既存の規程を利用。
- ・トレイルOの各資格は既存の規程を利用。
- ・ナビゲーション・インストラクター等は既存の規程を利用。なお今後は当該規程への統合を検討する。
- ・有効期間の統一
- ・登録料および認定料の記載方法を改定→年間費であることを明記。初回認定料以外に更新認定料を作成。

以上、審議の結果、出席理事総数16名のうち賛成15名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

#### 第9号議案 会員支援に関する施行細則制定の承認(信原業務執行理事)

会員支援に関するガイドラインの見直し→競技者登録費のJOAと各会員の按分を会員支援金とする

以上、審議の結果、出席理事総数16名のうち賛成15名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

#### 第10号議案 競技規則類の3規程改訂の承認および1つのガイドライン、1つの施行細則改正の報告(高島業務執行理事) 以下3規則の改正案の承認。

『日本オリエンテーリング競技規則』

『公認大会開催に関する規則』

『イベントアドバイザー資格認定に関する規則』

合わせて以下のガイドラインと施行細則も改正するので確認願いたい。

『競技規則および関連規則類のガイドライン』

『競技者登録に関する施行細則』

奥田理事から、先日の全日本スプリント大会における近親者の経験に基づき、若年層クラスに対する、コース設定、配布する競技用地図の凡例、コントロール位置説明について改善の余地があると思うので検討いただきたい旨の発言があり、関連する理事が発言し、奥田理事の言われる改善の余地について普及面、競技面、競技会運営面等幅広い視点で検討することとなった。

齋藤監事から、「競技規則および関連規則類のガイドラインに関することであるので、競技委員会で検討改訂いただければよいが競技規則の改訂はIOFの競技規則の改訂に準じているということであれば、リレー競技の競技時間は男女で異なったままであるので、検討いただきたい」旨の発言があり、担当の高島競技担当業務執行理事が競技委員会での検討の際の参考意見を求め、全日本リレー大会担当の奥田業務執行理事、糸業務執行理事が各々参考意見を述べた。

以上、審議の結果、出席理事総数16名のうち賛成15名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

愛場副会長から、競技規則関連の改訂については、競技者の関心も高いところであり、その広報対応について改善すべきではとの意見があり、糸業務執行理事が事務局と協議の上、今回対応することとなった。

#### 第11号議案 2024年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注先の承認(糸業務執行理事)

2024年10月に岐阜県で開催を予定している2024年度全日本(ミドル・ロング)オリエンテーリング大会において、委員会内委員である事業者へ役務の発注を行う予定のための理事会承認。また今回は前回理事会での指摘事項を受け、業者については昨年12月末に公募資料を公開し、公募を行った。

齋藤監事から、「比較表の内容と見積書の条件に差異があるのではないか」との質問があり、糸業務執行理事が比較表の修正を行った上で説明、審議を行った。

以上、審議の結果、出席理事総数16名のうち賛成15名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

報告事項 各理事、委員会、事務局の報告

1)スキーO 世界選手権日本誘致状況について(高島業務執行理事:国際担当)

- ・オーストリアで開催された世界選手権の直前に IOF の会議が開催され、その中で 2026 年 2 月末～3 月に日本(北海道)での開催が決定した。各国からは歓迎ムードであった。
- ・開催の前年にプレ大会の開催を打診されている(アジア選手権のような地域大会を想定)
- ・助成金の取得が難航している。
- ・実行委員会の設立に向けて準備を開始している。皆様のご協力をお願いしたい。

意見交換・討議

1)今後のアジア地区での日本の活動方針(茅野理事:国際委員会)(オブザーバー:落合公也氏)

2022 年度末の AsWG で、アジア地区連盟の設立が可決。具体的になってきた。

アジア地区連盟での日本の関わり方はどうあるべきか、ご意見をいただきたい。

- ・日本から評議員を選出しなければならない(村越)
- ・法人登録(事務局)はシンガポール。JOA の現在の体制として参加出来るのか?この辺りも検討すべき(落合)
- ・アジア地区連盟の大きな役割としてアジア選手権の開催、ジュニアユース大会の開催

2)ねりんピックにおける公認大会規則の逸脱を検討してよいか(高島業務執行理事)

2025 年 10 月に開催。それに併設した大会が公認申請されている。ねりんピック参加者との兼ね合いで、公認大会には 60 歳以上のクラスを設けず、オープンクラスにしたいとの岐阜県からの要望があるが、現行の競技規則から逸脱する案件なので、理事会でご検討いただきたい。

- ・対外的な観点から公認大会に関する逸脱案は今回に限ってということで、承認したらどうか?
- ・年齢制限や参加クラス等の細かいことについては、別途検討する事とする。

3)JPSA 登録、JPC 加盟に向けての今後の対応方法について

- ・前回、前々回の理事会での決定を踏まえ、JPSA 登録、JPC 加盟に向けて動き出したが、想像以上にハードルが高かった。
- ・JPC に加盟する為には、JOA の中にデフ部門だけでなく、パラスポーツを推進するような組織を作る必要がある(愛場)
- ・オリエンテーリングの身体障害者向けの体験会などの開催等も実績になるかと思う(野中)
- ・パラスポーツ普及委員会(仮称)等を立ち上げるとしたら、野中理事の他に誰か一緒に活動できる人が数人は必要

次回理事会は 2024 年 5 月 18 日(土) 14:00 から

本日のオンラインシステムを併用した会議は、終始異常無く議題の審議を終了したのを確認した。

第 42 回理事会議事録 以上

2024 年 2 月 11 日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

議長

代表理事「副会長」 愛場 庸雅

愛場 庸雅

印

議事録署名人

監事 齋藤 宏顕

齋藤 宏顕

印